学校教育目標 :「自律」・「尊重」・「挑戦」を大切にした学びがある学校 ~個人と社会の Well-being を目指して~

小城市立岩松小学校 学校だより 第14号



岩松小だより

令和7年7月4日発行 発行者 校長 真子靖弘

「平和」について考える その②

7/1(火)、Meet を使った全校集会で校長講話を行 いました。今回のテーマは「アンパンマンから平和を 学ぶ」でした。今年は太平洋戦争終結から80年とい う節目の年であり、日本が他国と戦争や紛争がない 状態が 80 年続いていることは大変素晴らしいこと

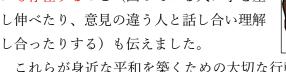
です。この平和が続くよう、私たち が努力し続けなければならないという 思いを込めて、講話を行いました。



〈校長講話の要旨〉

- ·アンパンマンの作者であるやなせたかしさんは、 太平洋戦争に兵隊として参加し、飢えの苦しさ や、戦争の評価が一変することを体験した。
- ・彼はその経験を通して、どんな時でも変わらない絶対的な 正義について深く考え2つの結論にたどり着いた。
- ①お腹がすいている人に食べ物をわけてあげること。
- ②自分を犠牲にしてでも人を助けること。
- ・アンパンマンが自分の顔をちぎってパンをあげる行為は、 自分がちょっと大変な思いをしても、困っている人を助け る勇気が大切だということを伝えている。
- ・アンパンマンのように、自分ができることで誰かを助けて、 優しい気持ちを広げていこう。

同時に、平和とは、単に争いがないだけでなく、す べての人々の人権が尊重され、社会正義が実現され ている状態であることも強調しました。また、平和 は、国際的な問題だけでなく、私たちの日常生活の中 にも存在すること(困っている人に手を差 し伸べたり、意見の違う人と話し合い理解



これらが身近な平和を築くための大切な行動であ ることを、今後も機会あるごとに繰り返し伝えてい きます。最後に、子どもの問いと感想を紹介します。

・自分もアンパンマンみたいに人のために 何かしていきたいです。【6年】



·アンパンマンのように優しい心をもちたいです。【5年】

・「平和」とは何だろうか?【4年】

・困っている人がいたら、自分のできることを 考えて助けてあげたいです。【4年】



- ・日本は安全なのに、どうして戦争があるのだろか?【3年】
- ・今日の話を聞いて平和って大事だなと思いました。【2年】
- ・どうして(太平洋)戦争があったのか?【2年】
- ・これから戦争がないようにしたい。【1年】

|子どもたちの主体性と責任感|





子どもたちの自律心と責任感に 💋 おいて、目覚ましい進歩がありました。

6/25(水)の古川教諭の6年松組公開授業の日、2 **年生から5年生までの子どもたち**が驚くべき<u>自律性</u> を示しました。教職員が授業を参観している間、子ど もたちは主体的に課題に取り組み、早く終わると静 かに読書をして過ごしていました。これは、子どもた ちが学習に対する認識を、受動的に教えられるもの から、能動的に自分たちで取り組むものへと変化さ せていることを示しています。

そして、6/27(金)の朝には、登校してきた 2年生の女の子が、途中で拾ったゴミでいっ ぱいのビニール袋を持っていました。空き缶 やその他のゴミを拾うという彼女の純粋で献身的な 行動は、本当に心を温かくするものでした。

子どもたちが目覚まししく成長していることは明 らかであり、彼らが育んでいる**主体性と市民として の責任感**は、非常に誇りに思うべきことです。

|主体的な学びの広がり|



6/25(水)、**古川教諭**による算数科の**研究**

授業が行われました。この授業では、古川教諭の熱心 な指導はもちろんのこと、6年生の子どもたちが、

「自分ごと」として主体的に学習に取り組む姿が印 象的でした。先生と子どもたちの間に築かれた良好 な関係性の中で、いきいきと学ぶ様子は、参観してい て大変喜ばしいものでした。講師の**庸瀬圭吾先牛**(佐 賀県教育センター)も絶賛されていました。